⑷　開札（入札執行）の日時及び場所
①　電子入札による入札の締め切り　平成26年４月23日（水）午後４時00分
②　郵送による入札書の提出期限（紙入札参加の届出を行った場合、書留郵便に限る）
平成26年４月23日（水）午後４時00分
③　開札日時　平成26年４月24日（木）午前11時00分
④　開札場所　上記⑴の中日本高速道路株式会社　名古屋支社　８階入札室

５　その他
⑴　契約の手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。
⑵　入札保証金及び契約保証金
①　入札保証金　免除。
②　契約保証金　納付。
ただし、有価証券の提供又は金融機関等の保証をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金の納付を免除する。
⑶　入札の無効　本公告に示した競争参加資格のない者の行った入札、申請書等に虚偽の記載をした者の行った入札及び入札に関する条件に違反した者の行った入札は無効とする。
また、入札時に単価表の提出のない者の行った入札は無効とする。なお、提出された単価表を審査した結果、真摯な見積を行っていないと認められたときは、その者の行った入札を無効とする場合がある。
なお、無効の入札を行った者を落札者としていた場合は落札決定を取り消すものとする。
⑷　総合評価技術提案資料の提出　本工事の総合評価技術提案資料の提出にあたって、標準案の内容について、総合評価技術提案で施工しようとする場合は、その内容を示した総合評価技術提案資料を提出すること。総合評価技術提案が適正と認められない場合に、標準案に基づいて施工する意思がある場合は、総合評価提案資料においてその意思を表示すること。
⑸　総合評価技術提案資料のヒアリングを実施する場合は、その実施日時及び場所等を別途通知する。
⑹　総合評価技術提案の採否　総合評価技術提案の採否については、競争参加資格確認結果の通知に併せて通知する。
なお、競争参加資格確認結果の通知において、総合評価技術提案による競争参加通知を認められた者は、当該提案に基づく入札を行い、総合評価技術提案による競争参加資格を認められなかった者は、標準案に基づく入札を行うことを条件とし、これに違反した入札は無効とする。
⑺　落札者の決定方法　落札者となるべき者の決定方法は、契約制限価格の範囲内の入札額で最も総合評価点が高い者を落札予定者とし、その者が提出した単価表を審査のうえ妥当な場合に落札者とする。
ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがあって著しく不適当であると認められるときは、落札者としないものとする。
⑻　落札決定の取り消し等　申請書に虚偽を記述した者は、当該工事の競争参加資格の確認を取り消すとともに、「中日本高速道路株式会社工事・調査等の資格登録に関する要領」に基づく資格登録停止を行うことがある。
また、入札者の故意又は重大な過失により入札書が無効となった場合は、当該入札者に対し、資格登録停止を行うことがある。
⑼　配置予定監理技術者の確認　落札者決定後、ＣＯＲＩＮＳ等により配置予定の技術者の専任制違反の事実が確認された場合は、契約を結ばないことがある。
なお、病気、死亡、退職等の極めて特別な場合でやむを得ないものとして承認された場合のほかは、技術資料の記載内容の変更は認められない。病気等特別な理由により、やむを得ず配置予定技術者を変更する場合は、上記２⑸に掲げる基準を満たし、かつ当初の配置予定技術者と同等以上であると発注者が承認した者を配置しなければならない。
⑽　「調査基準価格」を下回る入札を行った者
「調査基準価格」を下回る入札を行った者との契約については、契約保証金の額を請負代金額の10分の３以上とするとともに、前払金の額を請負代金額の10分の２以内とする。
なお、本措置は工事が進捗した場合の部分払の請求を妨げるものではない。
⑾　専任の主任（監理）技術者の配置が義務付けられている工事において、調査基準価格を下回った価格をもって契約する場合においては、主任（監理）技術者とは別に同等の要件を満たす技術者の配置を求めることがある（入札説明書参照）。
⑿　申請書等の作成及び提出に要する費用は原則として提出者の負担とする。
⒀　提出された申請書等は、原則として返却しない。
⒁　手続における交渉の有無　無。
⒂　契約書作成の要否　要。
⒃　当該工事に直接関連する他の工事の請負契約を、当該工事の請負契約の相手方と特命契約により締結する予定の有無　無。
⒄　関連情報を入手するための照会窓口・手続に関する問い合わせ先は、上記４⑴に同じ。
⒅　競争参加資格の認定を受けていない者の参加　上記２⑵に掲げる競争参加資格の認定を受けていない者も上記４⑶により申請書等を提出することができるが、入札に参加するためには、競争参加資格確認結果通知の日までに、当該資格の認定を受けていなければならない。
⒆　詳細は入札説明書による。

６　Summary
⑴　Official in charge of the contract of the procuring entity : Mutsuo Ota, Director General of Nagoya Branch, Central Nippon Expressway Company Limited.
⑵　Classification of the services to be procured : 41
⑶　Subject matter of the contract : Construction work of Nagoya-daini-kanjyou Expressway Nagoya-nishi Junction C Ramp Bridge and other 7 Bridges (Substructure)
⑷　Due date for the submission of application forms and relevant documents for the qualification : 4 : 00 P.M. 5 February 2014
⑸　Due date for the submission of tenders by electronic bidding system : 4 : 00 P.M. 23 April 2014. (Tenders submitted by registered mail, 4 : 00 P.M. 23 April 2014)
⑹　The language used for application and inquiry shall be Japanese
⑺　Contact point for tender documentation : Contract Team, General Affairs and Corporate Strategy Department, Nagoya Branch, Central Nippon Expressway Company Limited. 2―18―19, Nishiki, Naka-ku, Nagoya-City, 460―0003 Japan Tel. 052―222―1447

入札公告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。
平成26年１月６日
契約責任者　中日本高速道路株式会社
名古屋支社長　太田　睦男
◎調達機関番号　418　◎所在地番号　23
１　工事概要
⑴　品目分類番号　41
⑵　工事名　名古屋第二環状自動車道　名古屋西ジャンクションＣランプ橋他４橋（鋼上部工）工事
⑶　工事場所　自）愛知県名古屋市中川区
至）愛知県名古屋市中川区
⑷　工事内容　本工事は、名古屋第二環状自動車道における５橋を架設する鋼上部工工事である。
⑸　工事概算数量
①　島井高架橋（Ｐ１～Ｐ16）　鋼製橋脚10基（Ｐ７～Ｐ16）
形式　鋼４径間連続非合成鈑桁＋鋼３径間連続非合成箱桁＋鋼３径間連続ラーメン鋼床版箱桁＋鋼３径間連続鋼床版箱桁＋鋼２径間連続非合成鈑桁　橋長　669m　最大支間長　94.0m　幅員　18.75m　鋼重　約7,200ｔ　架設　移動式台車による一括架設工法＋クレーン・ベント工法
②　名古屋西ＪＣＴ　Ｂランプ橋（西Ａ２～ＲＢ６）　鋼製橋脚　１基（ＲＢ３）
形式　鋼３径間連続非合成箱桁＋鋼３径間連続非合成鈑桁　橋長　291m　最大支間長　55.4m　幅員　6.00m　鋼重　約1,200ｔ　架設　クレーン・ベント工法